

**岸上** 息子さん、娘さんには、業績のいい店からそれぞれ5店舗ずつ承継させたと聞いています。

**曾根** はい。業績のいい店を譲ったつもりですが、本人たちがそう思っているかどうかは別問題。もしかして、お荷物を背負っていると思っ

ているかもしれません。だからといって、長男の方は、私に相談したり、指導を請うことは一切ありません。私もひとりの経営者として彼を尊重して、向こうから聞きに来ない限り、自由にやってみろというスタンスでいます。正面から何か言っても、衝突してしまいますからね(笑)。

一方で、長女はまず私を理解し、学ぶ姿勢。兄妹でまったく違います。道を究めるための成長を示した言葉に「守」「破」「離」がありますが、長女は教えを守り、学ぶ「守」の段階です。しかし、「破」「離」という否定から入ってしまうのが現在の長男の心境でしょう。正直なところ、気持ちの面では断絶状態に近いのかな…。もちろん心配ですが、私があるこれ口出してやる気を持ってしまったら本末転倒です。ありがたいことに長年、番頭さんの役割を果たしている総務部長がおりまして、彼女が長男の話の聞いたり、相談に

乗ったりしているようなのでとても助かっています。

**岸上** 息子が父親を否定するというのは成長の段階でもあると思うんですが。私にも息子がいるので理解できませんが、理屈じゃなくて、親父だから気に入らない、抵抗する。わざと大きさに否定してみせる。きっと親

父を超えたいという気持ちの裏返しでしょうね。親は腹を試されているんですよ。確かに頭に来ますが、そこはビジネスの先輩であり、人生の先輩としてどっしり大きく構えていかなないと。満足会でもそんな事例がたくさんあって、偉大な創業者をなかなか超えられない若き後継者たちの悩みや不満が、毎回噴出してい

ますよ。満足会はそんな子供たちにとって、一種のガス抜き場にもなっているのじゃないか。最近では、親世代よりも自分たちの方が伸び代がある、なんて言ってますよ(笑)

**曾根** 満足会で知り合った後継者の皆さんと話をするうちに、長男もいろんなことを学んでいるのだと思います。多くの人の考えに触れることは良いこと。でも、成長の過程ではあると分かっているけど、今まで私に従ってきた息子がいきなり反発したときには、本当にびっくりしましたよ。『えっ、何だっ！』という感じ。以来、どんなに丁寧に説明しても、否定されてしまう。成長を感じる場面でもありますがやはりショックも大きいですね。子供は私の胸を借りているんだと分かっちゃいるけれど、つい私も正面からぶつかってしまう。「こんなこともわからないのかっ！」と…。ジレンマですね。



# 岸上 照幸氏

岸上 照幸 70歳  
血液型 A型  
SPC ジャパン幹部  
株式会社トービケンをはじめ複数の企業を創業。3年前の68歳の誕生日に娘婿の米倉純氏に事業を承継。他の企業も長男、次男に承継している。現在はSPC ジャパン幹部として業界の発展に尽力する多忙な日々を送る。

**岸上** 満足会は、親は修行の場、子供は親の胸を借りる場であってほしいと思っています。テーブルを囲んで親子で本音を言い合う。心を裸にできる場であってほしいし、それを別の親子が見て学ぶ機会にしてほしいですね。子供の幸せを望まない親はいないですから。子供も親の望む